

全学共通基礎科目のコース構成図

【R4カリキュラム】

コース名称 及びコースの説明	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
(1)基礎科学コース				
自然科学の基本的知識を学習する。	基礎生物学	生物学実習	データ解析法	
	生命科学			
	化学			
	化学実習			
	物理入門			
	物理学	物理学実習		
	物理入門実習			
	基礎数学			
情報処理演習	統計解析演習			
(2)コミュニケーションコース				
国際語としての英語ならびに他の外国語、さらに言語以外のコミュニケーションについて学習する。	英語講読ⅠA	英語講読ⅠB	英語講読ⅡA	英語講読ⅡB
	実用英語A	実用英語B	英語(会話)A	英語(会話)B
	英語(SPⅠ)A	英語(SPⅠ)B	英語(SPⅡ)A	英語(SPⅡ)B
		文章表現法	独語A	独語B
			仏語A	仏語B
			中国語A	中国語B
			グループワーク演習	
			手話・点字演習	
(3)人間形成コース				
人文・社会科学や行動科学において、幅広い知識と教養を学習する。	社会学		社会学から読む医療	
	経済学	憲法	社会の病理	
	哲学	茨城学	法と医療	
	教育学		バイオエシックス	
	学問の時代を創った人々		思想と宗教	
	医工連携の最先端		スポーツ科学実習	スポーツ・コンディショニング理論
	臨床人間学シミュレーション			
	心理学	教育心理学		
	健康科学			
	保健・スポーツⅠ	保健・スポーツⅡ		
	保健・スポーツ(トリムコース)Ⅰ	保健・スポーツ(トリムコース)Ⅱ		

看護学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)看護学の基盤コース 看護学の学問的基盤となる幅広い知識・技術・態度を習得する。	人体の構造と機能 セクシャリティと健康 看護学概論	人体の構造と機能実習 生涯人間発達 I 生涯人間発達 II	臨床心理	環境と放射線 看護情報学				
(2)看護実践の基盤コース 看護実践の基盤となる知識・技術・態度を習得する。		生活援助論 ヘルスアセスメント	看護過程論 診療過程援助論 衛生・公衆衛生学 看護学基礎実習		疫学・保健統計			
(3)健康障害と看護コース 健康障害をもつ対象の特性に応じた看護実践を展開する基盤となる知識を学習する。		健康障害の成り立ち I 健康障害の成り立ち II 代謝生化学 薬理学 病原微生物と免疫	健康障害と治療 I 医科学総合科目 I	健康障害と治療 II 臨床栄養学	医科学総合科目 II		言語病理	
(4)ライフサイクルに共通する看護コース ライフサイクルを通じた対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。	リハビリテーション概論 精神看護学概論	地域リハビリテーション	障害者スポーツ がん看護	精神看護学援助論 ウイメンズヘルス看護学概論 家族看護学	精神看護学演習 ウイメンズヘルス看護学援助論 ウイメンズヘルス看護学実習		リハビリテーション看護論 がん看護アドバンス	
(5)ライフステージの看護コース 各ライフステージにある対象の特性に応じた看護援助に必要な知識・技術・態度を習得する。			成人看護学概論	小児看護学概論 慢性期看護論 老年看護学概論 誕生の自分史	小児看護学演習 急性期看護論 老年看護学援助論	小児看護学実習 慢性期看護実習 急性期看護実習 老年看護学実習		
(6)多様な場における看護実践コース (医療機関、在宅、保健機関、福祉施設、産業・職域、学校等の)多様な場における対象者の特性や場の複雑性を認識し、対象者のニーズに応えるための看護実践を理解する。		地域の健康と看護 国際保健医療活動	地域の健康と看護実習	在宅看護学概論 災害看護学	在宅看護学援助論		在宅看護学実習 国際看護学演習 地域精神看護学 災害看護学演習	
(7)公衆衛生における看護実践コース ライフサイクルを通して、様々な健康状態にある集団を対象に、予防の視点から個人、集団、社会システムに働きかける看護実践を習得する。				公衆衛生看護学概論 社会サポートシステム論	対象別保健活動論 公衆衛生看護学活動論 地区活動論 地区組織活動論 産業保健・学校保健 健康危機管理論	地域診断演習	保健指導演習 地域ケアシステム演習 公衆衛生看護学実習 健康リスクマネジメント演習 公衆衛生看護管理論 ケースマネジメント演習	
(8)総合応用コース(看護学) これまでの学習を応用し発展的に看護学をとらえ、さらにすべての知識・技術・態度を統合し、主体的に新たな課題や解決の方向性を見出せる能力を習得する。			医療とボランティア活動		看護管理学		看護学総合実習 看護における意思決定 看護学総括演習 看護研究	
(9)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			チームワーク演習 ※1			多職種協働演習	
							国際多職種協働実習 I (1~4年前期) 国際多職種協働実習 II (1~4年後期) 地域多職種協働実習 (1~4年)	
	※1基礎科目							

理学療法学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)人体システムコース 理学療法の基盤となるヒトのからだのしくみをその構造と機能および発達から学習する。	人体の構造 人体の機能	代謝生化学 薬理学 生涯人間発達Ⅰ 生涯人間発達Ⅱ 人体の機能実習 人体の構造実習						
(2)基礎保健医療コース ひとの健康や障害について、そして人を取り巻く環境も含め保健医療の基礎を学習する。	リハビリテーション概論 作業科学 セクシャリティと健康	健康障害の成り立ちⅠ 病原微生物と免疫 放射線医学概論	臨床心理 医科学総合科目Ⅰ 保健医療福祉論 衛生・公衆衛生学 障害者スポーツ	精神問題と対応 環境と放射線		医療とボランティア活動 医科学総合科目Ⅱ		言語病理 国際保健医療活動
(3)基礎理学療法コース 理学療法の基本的な考え方および理学療法法の基盤となる運動・動作について学び、理学療法法の基本的技術を習得する。	身体運動学 基礎理学療法学	運動学実習 臨床体験実習Ⅰ	理学療法基礎技術学 臨床体験実習Ⅱ	物理療法学		基礎理学療法学特論		
(4)理学療法評価コース 理学療法の対象とする障害のとらえ方や測定方法を含め問題点の抽出方法とまとめかたを習得する。		理学療法検査・測定法	理学療法基礎評価学	理学療法計画論 臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		理学療法評価学
(5)急性期理学療法コース 理学療法の対象となる疾病や障害の急性期に必要な対応とリスク管理を習得する。						急性期理学療法学 理学療法リスク管理		
(6)障害別理学療法コース 理学療法の対象となる障害の特性を系統別に学び、対応する理学療法技術を習得する。			筋骨格障害と対応 筋骨格障害理学療法学 神経障害と対応 老年期障害と対応	内部障害と対応 脳血管障害理学療法学 小児期障害と対応	内部障害理学療法学 神経障害理学療法学 老年期障害理学療法学	スポーツ理学療法学		運動器障害理学療法学特論 ニューロリハビリテーション特論 呼吸ケア特論
(7)生活期理学療法コース 理学療法の対象となる障害を生活する場との関連で学び、人がその地域で生活するために必要な理学療法技術を習得する。		地域リハビリテーション			地域理学療法学 生活環境論 生活支援機器論	地域理学療法学実習		地域理学療法学特論
(8)総合応用コース(理学療法学) これまでの学習を応用し発展的に理学療法を捉え、さらにすべての知識や技術、態度を統合し、新たな課題や解決の方向性を見いだせる能力を習得する。						理学療法研究Ⅰ	総合臨床実習フィールドA・B	理学療法学総括演習 理学療法指導論 リハビリテーション管理学 理学療法研究Ⅱ 応用臨床実習
(9)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			チームワーク演習 ※1				多職種協働演習
								国際多職種協働実習Ⅰ(1～4年前期) 国際多職種協働実習Ⅱ(1～4年後期) 地域多職種協働実習(1～4年)
	※1 基礎科目							

作業療法学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1) 人間の理解と健康コース								
人体の構造とその機能、人体の健康に関するシステムを理解し、人体の健康に影響を及ぼす環境との関係について学習する。	人体の構造	人体の機能実習	医科学総合科目Ⅰ	環境と放射線	医科学総合科目Ⅱ			言語病理
	人体の機能	人体の構造実習	衛生・公衆衛生学	臨床栄養学				
	セクシャリティと健康	健康障害の成り立ちⅠ						
		代謝生化学 薬理学 病原微生物と免疫 放射線医学概論						
(2) 作業科学コース								
作業に焦点を当てた治療・介入の基盤となる知識と分析・評価および介入の基礎となる技能を習得する。	作業科学		障害者スポーツ			音楽活動演習		作業科学演習
	基礎作業療法学演習 (集団・交流系)	基礎作業療法学演習 (製作系)						
(3) 総合作業療法コース								
人々が自分らしく生きるため、自らにとって意味ある作業へ自ら参加できるよう支援するための知識を学習し、事例を通して実践の経験を積み知識と技能を統合する。	作業療法概論		作業療法評価学演習 (作業機能障害)	日常生活活動分析学	日常生活活動学演習	作業療法理論	作業療法総合実習	作業療法学総括演習
	リハビリテーション概論					作業療法評価実習		
	作業療法体験実習					作業療法管理学		リハビリテーション管理学
(4) 身体障害コース								
様々な疾患から引き起こされた身体障害に対する治療・介入に関する知識と技能を習得する。	基礎運動学(作業療法)	運動学(作業療法)	作業療法評価学演習(身体障害)	身体障害作業療法治療学	内部障害作業療法治療学			
			筋骨格障害と対応	内部障害と対応	身体障害作業療法治療学演習(中枢)			
			神経障害と対応		身体障害作業療法治療学演習(整形)			
					身体障害作業療法治療学演習(義手・装具)			
(5) 精神・認知障害コース								
様々な疾患から引き起こされた精神・認知障害に対する治療・介入に関する知識と技能を習得する。			臨床心理	精神障害と対応	精神障害作業療法治療学	精神障害作業療法治療学演習		
				作業療法評価学演習(精神障害)	高次脳機能障害	作業療法治療学		
				作業療法評価学演習(高次脳機能障害)				
(6) 年代別障害コース								
年代に応じた心身機能・作業遂行技能を高める治療・介入、環境調整による作業遂行能力を高める代償的介入に関する知識と技能を習得する。		生涯人間発達Ⅰ		小児期障害と対応	小児期障害作業療法治療学	小児期障害作業療法治療学演習		小児臨床とイメージ論
		生涯人間発達Ⅱ	老年期障害と対応	作業療法評価学演習 (小児期・高齢期障害)	高齢期障害作業療法治療学	高齢期障害作業療法治療学演習		
(7) 地域支援コース								
疾患や障害の有無に関わらず、人が地域でその人らしく生活するために支援に必要な知識と技能を習得する。		地域リハビリテーション	生活環境評価学	作業療法地域体験実習	地域作業療法学	地域統合支援実習		
			保健医療福祉論		医療とボランティア活動	応用地域作業療法学		
(8) 総合応用コース(作業療法)								
作業療法学に関する発展的な内容や隣接領域の他の学問における見識を高めるための知識と技能を習得する。					学生研究Ⅰ			学生研究Ⅱ
								国際保健医療活動
(9) IPEコース								
多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			チームワーク演習 ※1				多職種協働演習
					国際多職種協働実習Ⅰ(1~4年前期)			
					国際多職種協働実習Ⅱ(1~4年後期)			
					地域多職種協働実習(1~4年)			
※1基礎科目								

放射線技術科学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1)医療の基礎コース 診療放射線技師に必要なリハビリテーションや公衆衛生的な観点及びメンタルヘルスについて学習する。	リハビリテーション概論	病原微生物と免疫 代謝生化学 薬理学	衛生・公衆衛生学 臨床心理 医学総合科目Ⅰ 障害者スポーツ		医学総合科目Ⅱ			
(2)基礎理工学コース 高度な技術への対応や診療機器の適切な取り扱い及び放射線の安全利用のために必要となる理工学的な基礎知識を習得する。	放射線物理学	応用数学 医用工学 計算機科学 放射化学 放射線生物学	医用工学実験 放射線科学実験					
(3)実践画像医学コース 画像診断技術の習得に必要な基礎知識について学習する。	人体の構造と機能	健康障害の成り立ちⅠ 健康障害の成り立ちⅡ		病態と画像Ⅰ	病態と画像Ⅱ		画像医学	
(4)画像診断技術学コース 撮影技術の習得に必要な基礎知識について学習する。	医療と放射線技術 放射線医学概論		診療画像機器学 診療画像機器学実験 超音波検査技術学	X線検査技術学Ⅰ X線検査技術学Ⅱ 磁気共鳴診断画像技術学 超音波検査技術学実験	磁気共鳴診断画像技術学実習 X線検査技術学実習 救急検査・医療安全学		ペイシエントケア論	
(5)核医学検査技術学コース 放射性同位元素による核医学の知識や技術について学習する。				核医学検査技術学Ⅰ 核医学検査技術学Ⅱ	核医学検査技術学実習		核医学機能検査学	
(6)医用画像情報学コース 医用画像の成立に必要な画像形成理論を学習するとともに、医用画像の処理、解析及び評価についての手法を習得する。画像情報システムを含む医療情報システムの運用に必要な知識や臨床応用について学習する。			医用画像情報学Ⅰ 医用画像情報学Ⅱ	医用画像情報学実験			総合画像技術学	
(7)放射線治療技術学コース 放射線治療技術の基礎となる放射線生物学や放射線計測学、各種疾患における治療法、照射技術、基礎的な放射線医学、放射線治療の臨床まで総合的に学習する。			放射線計測学	放射線計測学実験 放射線治療技術学 放射線腫瘍学	放射線治療技術学実習		高度放射線治療技術学 総合放射線治療技術学	
(8)放射線安全管理学コース 放射線の安全管理のための放射線防護技術、放射線診療における品質保証の概念及び意義について学習する。				放射線安全管理学 環境と放射線	放射線安全管理学実験 診療放射線品質保証管理學			
(9)総合応用コース(放射線技術科学) 4年間の放射線技術科学の学修を総括し、医療人として必要なチーム医療ができる知識や技術及び態度を習得する。					診療放射線技術学実習 (臨床実習)		コロキウム 放射線技術科学研究	放射線技術科学総括演習
(10)IPEコース 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			チームワーク演習 ※1				多職種協働実習
				国際多職種協働実習Ⅰ(1~4年前期) 国際多職種協働実習Ⅱ(1~4年後期) 地域多職種協働実習(1~4年)				
	※1基礎科目							